

## 年 頭 挨拶

(於 新年名刺交換会)

平成14年1月5日

会津漆器協同組合 理事長 高瀬 淳

みなさん、明けましておめでとうございます。

漆器組合恒例の新年名刺交換会に、お足元の悪いなか、ご出席いただきましてありがとうございます。

これまで会津漆器協同組合連合会のもと8つに別れていた協同組合が、一昨年(平成13年)の5月に会津漆器協同組合として1つの組合になりました。連合会解散騒動以来、10年の歳月がかかったわけですが、本日、ここに会津漆器協同組合主催という名実ともに新たなる新年名刺交換会を開催することとなりました。これも、各行政機関や諸団体の支援の賜物であり皆様のご理解とご支援に感謝申し上げます。

さて、私は昨年(平成13年)の2月に理事長をお引受けいたしました。振り返りますとまさに改革の1年でありました。この改革が実行できたのは、副理事長や改革委員会メンバーの強いサポートのお蔭であります。

先ず当漆器組合の改革にあたり、3つの柱を考えました。一つは漆器組合の理念はなにかという、もっとも基本的な問題です。さらに、財政の健全化と諸規則の整備です。この3つの課題を2月から5月の総会までの僅か3カ月間で改革委員会のみなさんと考え改革を進めてまいりました。

最も大事な当組合の理念でありますが、会津漆器協同組合は事業協同組合であり、すなわち漆器に関わる事業主が参集している団体でありますので、漆器業を営む事業主の団体として、会津漆器の発展に努めることです。これはあまりに当たり前のことでもあります。しかし、長い年月の間に、この当たり前のことが当たり前となくなってしまうことが問題であり、この原点に戻ることに、会津漆器協同組合のおこなうべき仕事も明らかになったといえます。

現在、役員会の議事抄録は全組合員に配付され、公開されています。最も基本的な情報公開であります。事業主である組合員のみなさんには、会津漆器業界が歩んでいる道を十分に理解していただくことはたいへん大事なことです。と同時に、組合事務局に集まってくる多くの情報を、月1回発送するその定期郵送物に託することも可能となりました。また、先輩が残してくれた財産も大いに活用させていただきました。財政建て直しのために、漆器組合事務局と漆器販売所があった県伝統産業会館の1階を、会津若松市観光物産協会に借り上げていただくという、思い切った方法もとらせていただきました。また、事務局員のリストラというつらい仕事もおこないました。その結果、なんとか自立できる会津漆器協同組合に生まれ変わったかなという感じがしております。

一方、後ほどご紹介しますように叙勲を始め、市技能功労賞など多くの方が表彰されるという荣誉に輝きました。また、12名の方がこのたびの伝統工芸士試験に合格しました。当組合には、既に34名の伝統工芸士がおられますが、これで46名と大幅に増えたばかりか33歳、34歳など、30代40代のとても若い伝統工芸士が誕生しました。

また、行政機関等のご理解とご支援にも感謝申し上げなければなりません。

国会議員の諸先生方には、この財政厳しいおり、伝統的産業振興協会の予算を倍増していただきました。そのため伝産センターが池袋の旧東武美術館跡に移ることができました。当組合としましてもその補助金を活用し、伝統工芸士の協力を得て、蒔絵教室を会津若松市内の小中学校5校で実施したり、市の産業まつりで実演トークをおこないました。

福島県につきましては、会津若松商工会議所とともに長年にわたり要請活動を実施してきた会津若松技術支援センターの移転新築を、この4月に果していただきました。会津漆器技術後継者養成所の工房も同所内に移転、たいへん立派な養成所で14名の後継者が研修を受けております。また、任意団体である同養成所も、来年4月には労働省認定訓練校となる予定です。県に対しては、感謝を申し上げるとともに、今ひとつ、漆に関わる研究員の増員だけは、この場をお借りして、是非ともお願いしたいと思います。

会津若松市につきましては、まず市観光物産協会に、私どもの県伝統産業会館の1階を借り上げていただきました。即決していただいた市長さん、助役さんには心より御礼申し上げます。また、後継者の養成事業の支援や、商工会議所とともに要請活動を実施した制度融資の充実、山田漆器会館の資料や作品の散逸防止など、速やかに対処していただきました。

また、会津若松商工会議所には、これまでお話したような要請活動を一緒に実施していただき、また県中央会には中小企業人材確保推進事業という労働省の助成金を斡旋していただくなど、行政機関や諸団体の皆様には、本当にお世話になった1年間でありました。さて、当会津漆器協同組合もこのように自己改革に努めた1年でありましたが、実質的には、まだ病み上がりの状態にあるといえます。そんな会津漆器協同組合に対しまして、本年も、皆様のご支援、ご指導をいただきますようお願いいたしまして、ご挨拶とさせていただきます。本日は、どうもありがとうございます。